

# サンライズ出雲からこんにちは！

## ノビノビ座席レポート

makura

我々早稲田大学高等学院鉄道研究部は、8月3日から8月6日まで夏合宿を行いました。そこらへんは誰か他の部員がこの冊子のどこかで綴っていると思いますので詳細はここでは省きますが、今回の夏合宿は解散地が出雲市だったというその事実が大切なのです。

そう、出雲市。島根県。帰りづらい。我々が鉄道研究部主将は何と飛行機でビューンと帰りましたが、そんなのはチートです。しかし飛行機を使わないとなると、残る選択肢は新幹線かサンライズあたりなわけですが、新幹線ですら相当時間がかかるので実質サンライズしかないといった状況でした。というか、せっかくここまで来たらサンライズに乗りたいたではありませんか。

そういうわけで、夏合宿に参加した部員の過半数がサンライズ出雲で東京まで帰ることになりましたが、他の部員がシングルやシングルデラックス(ゆるさん)に乗車するなか、なんと僕だけはあのノビノビ座席を選んでいたので。だって安いんだもの。

正直に言いますと、ネットで少し調べたとはいえノビノビ座席に乗った経験はなかったため、結構不安でした。でもって、自分のようにノビノビ座席の実態を知っている人はあまり多くないのではないかと思います。ノビノビ座席を利用したことはなく、妙に安いので不安だが、機会があれば使ってみたいという方のお役に立てば幸いです。

### ・広さ

微妙です。よっぽど太っている人でない限り、そこまで窮屈に感じることはないでしょうが、大きめのリュックサックやスーツケースを置いてしまうと少し狭いです。

写真だと少し広めに見えます↓



横幅は中肉中背よりちょっと痩せ気味の自分が 3 人は入れないかなといった感じで、縦はこれまたよっぽど背の高い人でない限りハミ出すことはないでしょう。ただやはり天井は低いので、その圧迫感があります。これはどの号車にも共通することですが、通路も狭いです。大きな荷物を抱えている方はちょっと苦労すると思います。

#### ・乗り心地

ノビノビ座席のある 5 号車はモハネ、つまりモーター車であり振動は強めです。まあでも 1 編成全体がそこそこ揺れる(山陰本線区間などは特に)ので、たとえシングルデラックスだとしても揺れからは逃れることができないので、比較的揺れが強めという程度です。ただ、自分が乗ったノビノビ座席の上の段は下よりも強く揺れを感じます。乗り始めは少し恐怖を覚えました。しばらくすると割と慣れますが、酔いやすい人は酔い止めを持って行った方が安心だとは思いますが。

窓は普通に大きめですが、上の方が車体に沿ってカーブしているので若干外は見づらいです。上の段だと対向の車両の室内を少し見下ろす形になります。明石海峡大橋や、京都大阪の夜景なんかは割と楽しむことができますが、走行する時間の大半は日が落ちているので景色についてはあまり期待しないほうがいいでしょう。



↑自分の肩より上と比較して。

↑縦長。

↑見下ろせる。

#### ・設備

ひざ掛けと掛け布団の中間みたいなやつと、枕カバー、それにプラスチックの薄いペコペコするコップがあります。窓の方にエアコンの送風口があり、それは

スイッチをスライドさせることによって開閉が可能です。また、窓枠にライトが2つ備えつけられており、そちらも自由に ONOFF 可能です。窓側、つまり頭の方には隣の座席と区切るためのパーティションがありますが、完全に仕切るわけではありません。また、座席と通路を仕切るカーテンはありますが、通路の光は余裕で漏れるのでこれもまた完全な仕切りではありません。

窓にはシャッターが付いているので外から見られたくない、あるいは外の明かりなどが気になるときには有用です。

当たり前ですが、シャワーや自動販売機、ラウンジは使えます。使えなかったらいくらなんでもひどいです。シャワーカードは早めを買っておき、深夜などあまり混んでない時間にシャワーを利用しましょう。下手をすると 30 分以上並ぶことになります。

ですが、スリッパやタオル、浴衣などのアメニティはもちろん金庫など防犯設備はないので席を離れる場合は貴重品を携帯した方が安心です。

ちなみに、無理して硬いビノビ座席の床に寝転ぶより、ラウンジで座ったまま寝る(授業中に寝るような姿勢で)ほうがいくらか寝やすいかもしれません。

#### ・寝れるか寝れないか？

もちろんその日の疲れ具合とか眠気にもよりますが、隣の人がクソうるさいとかでない限り意外と寝れます。ただ、枕はないうえ床も硬く完全に暗くできないので、それを補完する装備がないと無理矢理寝るといった感じになります。自分は 5 時間弱寝ましたが、体の節々は痛みました。ぶっちゃけしっかり寝たいのならビノビ座席を選ぶ意味は微塵もないので他の寝台をオススメします。

#### ・総評

ビノビ座席にも、まあ何というか個性的な楽しさはあるのですが、基本的に他のソロやシングルやシングルデラックスに比べてビノビ座席が勝っている点はただ一つ、安さです。

例えば出雲市から東京までだと軽く 12 時間乗ることになりますが、その時間をできるだけ楽しく過ごしたいのなら素直に寝台に乗るべきでしょう。ですが、実は寝台を使うと新幹線+特急やくものほうが安上がりだし普通に速いので悩みどころではあります。

ですので、飛行機を使うのがイヤだったり、深夜バス以外で夜に移動したかったり、なんでもいから何も考えずに出雲から東京まで安価に移動したいという人やとりあえずサンライズ乗りたいんだという人以外は、お金に余裕があるなら寝台を選んだ方がいいと思います。たぶん。



↑出雲市駅にて。ブレブレ。